

(二) 情報インフラ

(イ) 学術情報の記録・保管のための配慮の適切性

本学の附属図書館に所蔵する図書は約 25 万冊、雑誌は約 2,000 種、視聴覚資料約 2,500 点、電子ジャーナル約 230 種である。これらの大部分を閲覧兼開架書庫（広さ 2100m²）中に管理保管している。閉架書庫まで含めると配架スペースの余裕はまだあるが、定期的に除架を含めた蔵書点検を行って、図書の鮮新さを保つように努めている。なお、教員の研究用として購入された学術図書資料は教員研究室に保管されているが、数年おきに図書館依頼により所在確認調査が実施されている。

本学の附属図書館では、昭和 61 年度に図書館システム（Lics - U）を導入して業務をコンピュータ化すると同時に、自館蔵書データ・ベースの構築を図ってきた。その後平成 8 年度に LibVision へ、平成 14 年度に現システムの LVZ へと図書館システムの移行を行って、個々の業務周りの使い勝手を向上させ、処理のスピード化を進めてきた。現在、図書資料の大半は遡及データの入力がほぼ完了していて、OPAC により学内の端末どこからでも図書目録の検索が可能である。これにより利用者が目的の資料を迅速に入手できる環境となっている。

今年度より、外部商用データ・ベースを従来の従量制契約から定量制契約へ変更して活用することになり、学内のあらゆる場所から豊富な二次資料の検索が可能となった。ただし、ほとんど工学・自然科学系のデータ・ベースが対象となっている。

閲覧可能な無料オンラインジャーナル（抄録の検索のみも含む）数は、平成 13 年度の 14 点から平成 15 年度の 113 点へと飛躍的に伸びたが、さらに和雑誌の電子ジャーナルを中心に無料提供のものは本学図書館ホームページを介して閲覧できるようにしたため、現在は 231 種のジャーナルの利用ができるようになっている。

文部科学省の「大学図書館実態調査 10・『電子図書館的機能について』」によって、私立大学全体の平均と比較すると、本学の図書・学術雑誌は、利用者が目的の資料をより迅速に入手できる環境が十分整えられている。しかし、図書・学術雑誌以外の、紀要など学内刊行物の収集・保管・提供においては未だ十分ではない。オンラインジャーナルの所蔵数も同ランク大学平均よりかなり少ない。

今後の課題として以下のことが考えられる。

- ・的確な資料の提供を行える環境の整備
雑誌資料のチェックイン・データの更新、並びに NACSIS 所蔵データの更新タイミングの検討などを今後行う。
- ・人文社会科学系学部向けのデータ・ベースの構築
現在、工学・自然科学に偏っているデータ・ベース提供を、今後人文社会科学系学部向けに拡充することであるが、その予算確保と内容の検討が必要となる。
- ・学内刊行物等の外部開放・情報発信

著作権の委譲に関して学内の合意形成を準備している段階である。図書館資料費の増加が望みにくい昨今であれば、利用者支援に直接関わる資料収集方法の検討、データ整備に努め、内部資料管理方法、業務改善を図ること、資料配架方法の検討、積極的な提供方法の改善等広く環境の整備を行うことが急務となる。

(ロ) 国内外の他の大学院・大学との図書等の学術情報・資料の相互利用のための条件整備とその利用関係の適切性

本学図書館は国立情報学研究所の NACSIS-ILL に参加しており、本学に所蔵しない資料についても他の大学院・大学を通じて入手できる体制を整えている。相互利用件数は「11. 図書館および図書・電子媒体等」の巻末資料 31 のとおりである。NACSIS-ILL による相互利用の件数は依頼・受付ともに漸増傾向にある。

その他、ILL による相互協力以外にも、本学は福岡県・佐賀県大学図書館協議会に加盟しており、加盟館間での学生証提示による図書館の相互利用や、私立大学図書館協会九州地区協議会が制定している外国新聞分担保存制度に基づいた外国新聞 4 紙の分担保存にも協力しており、図書館間で相互に協力して施設の利用や、資料の保存・提供を行える体制を整えている。

文部科学省の大学図書館実態調査で比較した場合、NACSIS-ILL による他大学からの受付件数は全国平均より少なく、他大学への依頼件数は全国平均並みもしくはそれ以上である。貸借のバランスとしては貸出より借用が多い状況にある。これは社会環境学部を中心として本学に不足している文系分野の文献の借受・複写を他大学へ多く依頼していることにもよる。

NACSIS-ILL による国内の他機関との相互利用が増加傾向にあり、また利用者からの要望は外国の学位論文・学会論文等グローバルになっているため、外国の図書館・大学との相互協力にも対応する必要があるが出てくる。このため、今後の相互利用業務のサービス体制の見直しが求められる可能性がある。

NACSIS-ILL による他大学からの受付件数を私立大学全国平均に上げるため方策の一つは、社会環境学部を中心として本学に不足している文系分野の文献を充実することである。

今後の図書館資料の選定にあたって、この点を重点的に対応するよう調査等の準備を行う。